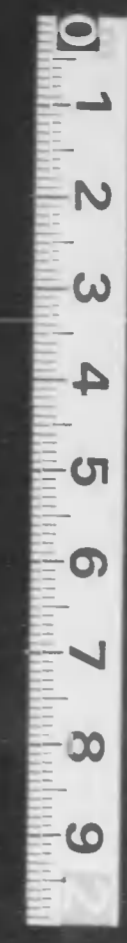


週寫  
報眞

編輯部報情閣内  
ンセ十・號一廿第・日六月七

加事變一周年





# 日支一國運北平

我が駐  
七師  
軍は  
方對峙  
北平  
には幸  
四  
北平

をもつて本戦終に蓋は時の空を破りて遙か

### 支那事變一周年

一年前の七夕祭の宵、北京郊外露橋野に夜のしじまを突き裂いて飛んだ銃弾。一閃は、世界歴史に大波紋を投じた。以来、察哈爾作戦、京漢津浦作戦、山西作戦、或は黄河北岸掃蕩、中支方面の作戦、徐州作戦と決然起つた皇軍には天敵も荒野も、黄塵も、塵まで潰かる泥濘も、灼熱も酷寒もその前進をばらみ得ず、抗日全軍またその前進をばらみ得ず、いまや敵の第二の首都漢口が皇軍の武威におのき揺く時、この一年、わが麗なる血潮は支那の大地に一瀉、二瀉としみ込んではや緑の芽が色とりどりに頭をもたげて来た。

北京も南京も明らかな建設に輝く音はこぼれ、新民主主義は抗日の悪夢を破つて人々に明るい笑ひを贈らした。

皇恩のもと、われに捕へられた哀れ抗日捕虜軍勢は更生の陽に浴し、官撫班は活躍し、あの通州は明朗化した。新支那を背負つて新民學院に学ぶ明日の若き官吏の姿に、或は生活學校の女學生の潑刺とした笑顔に——こゝにみる一連のゲラフは、このひと歳の偉い芽生えである。

事變勃發の夜孤々の聲をあげた赤ちゃんもかく丸々と育つてゐる。新生支那よこの赤ちゃんと共に健やかに、正しく強く建てよ。

(昭和十二年七月七日生れの赤ちゃん  
東京市豊島區長崎町一ノ一九四〇  
春山哲郎君) 六月廿三日 第十四  
全東京乳幼児検査會場(撮影)

撮影 内閣情報部

## 進め國産 銃後の護り



陸軍保護自動車  
商工省標準型自動車  
チーゼル自動車  
薪瓦斯自動車  
其ノ他各種自動車



川島東京東  
社會式株動自



# 怒濤の一年

## 支那船舶交通遮断

海軍省海軍軍務普及部

帝國海軍に依る支那船舶交通遮断は支那の所謂長期抗戦の命脈を斷つ爲支那の公私船舶の交通を全支沿岸に亘つて遮断せんとする手段である。滿々たる闘志を孕んで夙夜各地に果敢な進軍を續ける海軍航空隊、はた陸軍の先驅として陸上に進軍する海軍の精銳、陸軍の軍々しさに比べて、延々二千八百五十里に亘る大陸沿岸を遮断する封鎖部隊の勞苦はまことに筆舌に記すものがある。荒蕪地を風の日も大湖を雨の夜も荒々たる封鎖をくつとにらみ続ける乗組員の忍耐と無言の威厳こそ、無敵軍の輝かしい戦果にはかり知れざる大きな貢獻を爲して居る事實を奉饗一周年の今日深く銘記し、艦上將士の努力に對し感謝することとした。



南支海を制する〇〇艦  
甲板に立ちてモンスーンに荒蕪地を果しなき海の彼方を眺める將士の胸中や如何に。

洋上に集結漂泊する航行遮断部隊、必要な準備を整へて更に次の移動に進發せんとす。

陸上準備のために、〇〇艦から派遣される部隊、武装艦に乗り、乗員に送られ將に舷側を離れんとす。



撮影・海軍省





# 容共抗日が 今事變を招いた

今、歩兵隊々正義をゆく軍閥の前、  
つゝある支那。——莫大な国土をさらし  
なごる国民を差殺の苦しみの中に沈め  
ておられたものであつたか。——國府が  
内政に専らしようとした容共抗日の限  
つた。七月七日、事變一周年、こゝに當時の  
支那の容共教育と抗日熱病、軍閥狂奔の  
全貌をあはかり。

中共重慶總局毛澤東の肖像の  
下、抗日軍製作中に狂奔する支  
那人民救國軍の青年。

不死！

〇 國共合作によつて煽動され、許  
り出され九小學生宣傳隊、手に  
手に「失地恢復」「不死支那  
魂」ともの「レ」スローガ  
をかかげて。

〇 亡國思想にあやつられ「抗日救  
國」「訓練兵士隊」の示威に参加  
した支那女學生。

支那兒童は何を飲へられたか。  
「日本は悪者だ、支那は大き  
いがまだ闘い、東洋鬼がいぢめ  
金ひつくさうとてゐる！ お前  
ちは抱えねばならぬ！」と赤  
色教育はこの通り、子供たちに  
スコアの等脚者と同じ「赤色拳手」  
をさせるまで至つた。



去る三月十二日  
遼仙十三層橋下漢口  
で支那軍大勝祝賀大  
行進が行はれた、民  
は當時いまだ國府  
デマ放言を信じ抗  
歌を唱叫した、  
その大勝分は赤色  
軍に血塗つた學生  
士だつたのだ！



しろよかなかなるがい

# 勇浮的赤日



◎ 悠威堂ね具へる日本軍。一等、二等、三等—運動會の賞品を見れば、こゝは俘虜のパラダイス。

はかよりほんぐんぼに

# 做音節創我

◎ 元支那軍の勇士、今や白日のもとパン喰ひ競争のチャンピオンとなる。



◎ 皇威遍し。運動會の空腹へ白米の御馳走だ。捕虜の日課も又樂し。

◎ 抗日の悪夢はもうとうに消え去つてしまつた。二人三脚に興ずることの運動大會々場には蔣介石の演説も聞こへて來ない。











# 明通 州建 設

北京から垣々通州に達する通州街道も、皇軍と良民との協力で見違へる程立派に進歩が見え、初夏の風を切つて北京からのドライブがひと組ふた組と通ふきりになつた。

通州市街、右の崩れかけた城壁は惨劇の當時、逃げまどふ邦人の前に心憎くも立ちはだかつて多くの英霊を銃口に晒した。

事變前に倍加する邦人が、一年経つた今日殉難者の屍を越えて入つて来た。同時に倍加する明朝色にいつの間にか一蛇の目壽司の横顔やこぼれかたの看板が生れ出た。

悲しみも新たな殉難記念碑、假の木標に涙で書かれたあの頃の文字もひと歳前の風雨に濡れて来た。(仲内)



仇を仁で返すのが宣撫班は通州城内の幼児全員に種痘を施した。皇軍は良民を病魔から守つてゐる。地下には支那兵の経路によつて洗された邦人の血が吸ひ込まれてゐるのに。



撮影  
内閣情報部

二百に餘る同胞が鬼畜もたゞならぬ實業保安隊の手によつて建設された通州事變一掃ひ起すさへ悲憤の情に身ふるひを察し得ないその日が、近づいて来た。昨年七月二十九日、三時、俄かの銃聲に眼をさました通州の邦人たちは驚ひ来る兇徒が日頃信じ切つた保安隊なのにわれとわが眼を滅つた。

襲む我軍の守備兵は僅かに百人。千五百の兇徒に對し寸鐵なき邦人たちに、なんの防禦があらうぞ、たゞ知らぬ野蠻どもの兇れ狂ふに任すのみだつた。

浮月の間に無限の涙をのんで眠る殉難者の墓碑は、今も踏む人の袖をしぼらせる。

だが、脚を下つて市街に足を運ぶならば、そこには事變前に倍加する新な邦人たちが軒を並べ、恨みも癒しもしも拭き拭つて土地の支那人と手を握へ新しい建設に奮としてゐる。一州一が興してゐるのを見ることが出来る。

一明朝通州の建設一こそは尊き犠牲者の遺を慰むる唯一つの道だ、これが今、通州にある邦人たちの相言葉になつてゐる。





# 新支那の搖籃

# 新民學院



「大學の道は明德を明かにするに在り、民を新たにするに在り」新民の二字はこの中からとられた。楊柳の下を明潤清新な聲がひびいてくる。

北京の古い傳統の裡に打つて變つた新しいものが生れ出たその名も新民學院。この層根の下に未來の聲は息吹き、規律正しい起居が營まれてゐる。紳内はその實際の指導者、學生隊長岡分智也氏。

日語習得は日支提携に對する中國人の關心の最も端的なあらはれである。

防共親日、道義國家建設を目標として中華民國臨時政府は北支文化の中心地、北京に新民學院を今年一月から開設した。院長には先頃來朝した行政委員會委員長王克敏氏が自ら就任したが、新政府が積極的に新民主義の下に民主向上の使命を擔ふ中堅人物の養成を如何に大切と考へてゐるかは王克敏氏の意氣込方からも充分推察することが出来るのである。

新民學院學生は廿五歳から卅五歳までの大學卒業生の中から選抜されたもので三月で卒業するが、特に思想的に備らず、新政府の使命遂行に献身すべき強靱な精神の持主であることが要求される。現在百名の學生は、王克敏、龔子木、陳、蕭川、政治部等の諸氏を講師に、明日の更生中華建設に向つて奮立つ日を期し、日夜孜々としてその大抱負を磨いてゐる。



午前の授業が終つて晝食の時間になつた。食堂に會した百人の青年たち、あと十日でもうこの食堂とお別れだ、中堅官吏として新民會員として、キがて近五色旗の下に社會へと第二の誕生が待つてゐる。

北京はすつかり真夏だ。教練の時間ランニングシャツ一枚でもカン〜汗が湧く。立派な寄宿舎がある。わづか三ヶ月の生活だが、すべては新しい刺激と新しい希望に包まれてゐる。

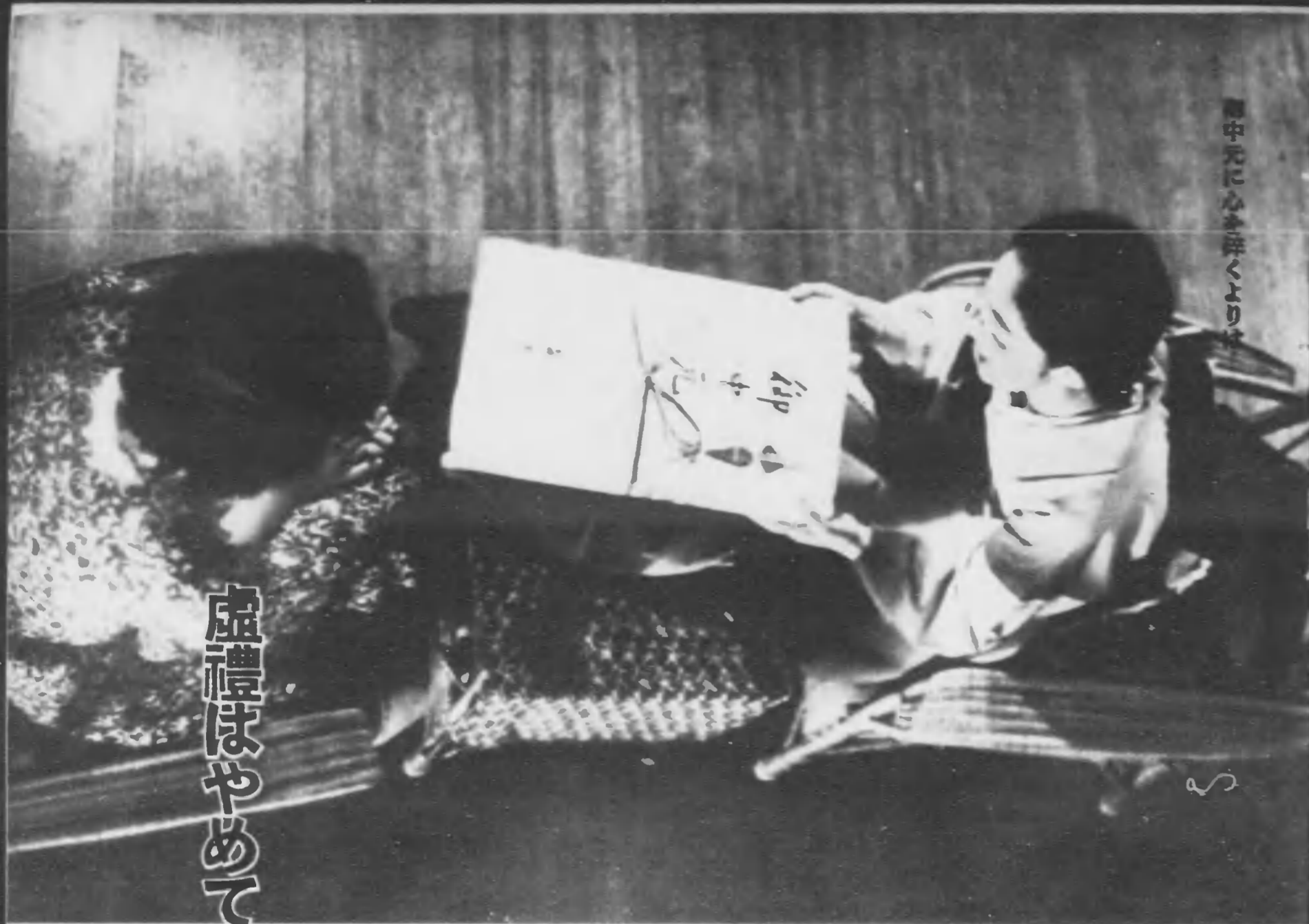
撮影 内閣情報部











陣中死に心を砕くより

虚禮はやめてみんなで贈る慰問品



戦地を想ひ七月七日は一菜で



こんな贅澤は



立派な武器器など 折れ釘も 七月七日 一戸一献納



4、5、6 層は現在製鋼の原料として年約三百二十万トンを生産する。鋼塊の消費割合は鉄鋼四割弱、銅六割強と云ふから層の占める地位は重大だ。またストロブ麻品、古茶銅等の鉄物も再生され、或は弾丸製造にも用いられる。近年に於ける鉄物製品生産額約百五十万トンの原料推定額中鉄約八十五万トンに對して錫約六十五万トンも消費されてゐる。寫真7層は鉄と共に溶融爐に入れて溶解し、(5)錫型に流し込めば、立派な伸縮が出来上る。(6)鐵工作業

7 かうして、空所の間に、床下に投げ棄てられてあつた一握の古釘も、古鍋も、バケツも、生れ變つて精巧な機械の一部となり、凡ゆる種類の武器ともなりうるのである。

内閣情報部監修  
「同盟映畫」  
月報「から



1、2 穴のあいたバケツ、折れた釘、からしたものはこの家庭にも一つや二つはころがつてゐる。そのまじはうり出しておけば邪魔になるだけで何の役に立たぬ。これを献納しよう。献納すれば立派に再生されるのだ。

3 町會や、青年團の人たちの手で集められた廢品は小学校の校庭に山と積まれる。こゝで錫屑は鐵屑、銅屑は銅屑と選別されて、層物問屋に賣却される。かうしてその代金は、恤兵金となり、國防基金となり、また大陸の聖戰に病み傷ついた傷兵保護の基金ともなり、賣却されたものうち、たとへば、鐵屑は精錬所に送られるといふわけ。

事變一周年を最も有意義に迎へるための國民運動の一つとして、七月七日當日國民精神總動員中央聯盟が主催となつて一戸一品献納運動が全国的に行はれることになつた。今後、いよ／＼長期戦を覚悟しなければならぬ時、資源愛護の精神から全國民が持つてこの運動に参加しやうではないか。



果ゆ子シ  
實てユラ  
備あーッ  
話きスブ

下ロツプ  
羊羹

チヨロレイト  
キヤラメル  
ビスケット  
フア  
ロツプ

♪ 迎歡大もて庭家御のらちど

# 子菓の治明

社会 株 業 製 治 明

集募賞懸案圖一タスポ同合 報週眞寫週

る迫切締

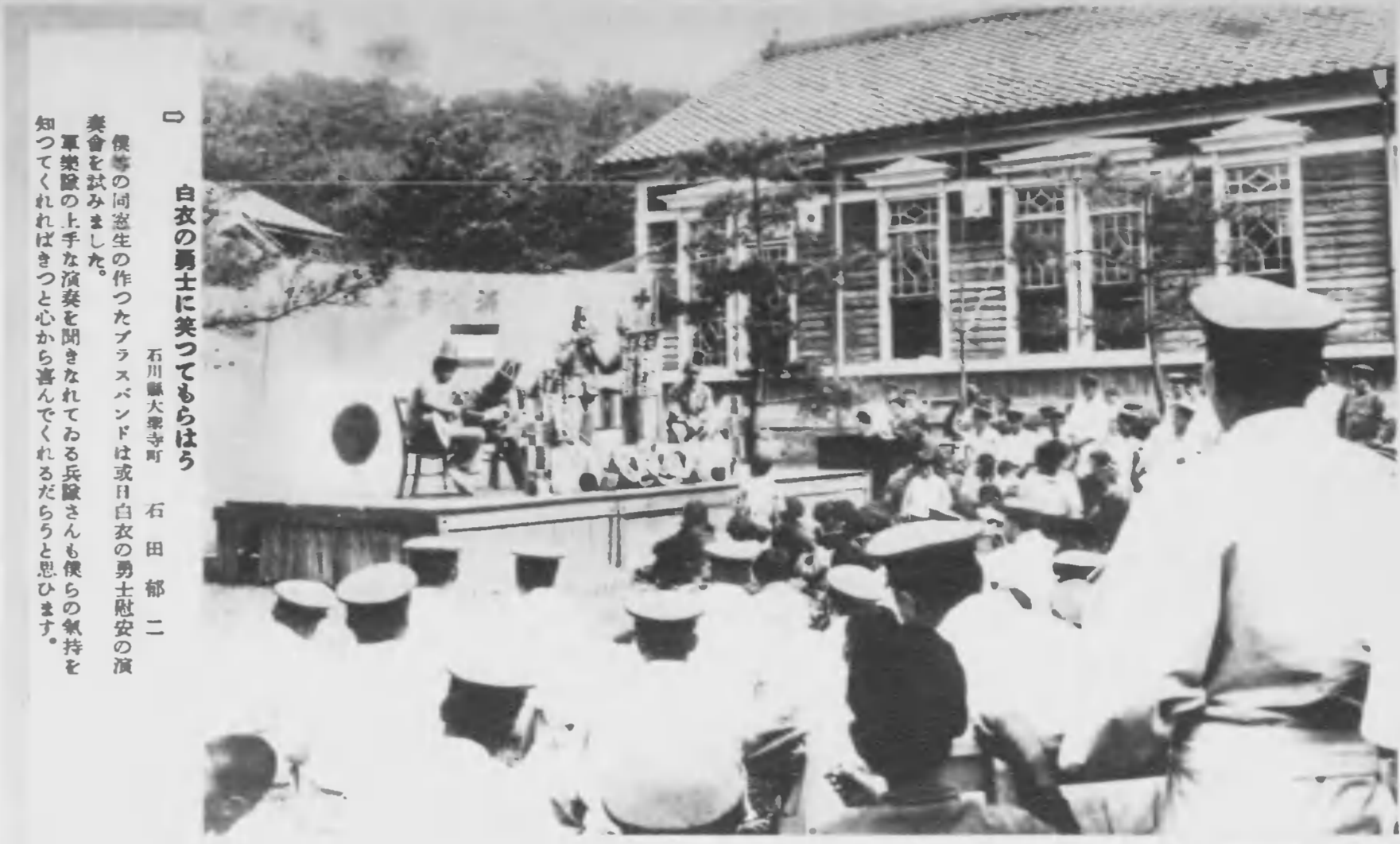
本誌及び「週報」が、内閣情報部から姉妹誌として編纂・発行されてゐることを、普及徹底させるため締結合同のポスターを左記規定により懸賞募集す。

**規 定**

編 纂……「寫眞週報」「週報」の宣傳を一枚にて表現するもの  
文 字 用……内閣情報部編纂「週報」のグラフィック  
「寫眞週報」一部十銭  
「週報」一部五銭  
「週報」二部五銭  
色 彩 式……日本標準規格判B1判(縦一〇三〇×横七二八耗)五色刷以下  
賞 金……一等(一名)三百圓  
二等(一名)百圓  
三等(二名)五十圓  
佳作(十名)二十圓宛  
(作品へ使用ニ際シ多少修正スルコトアルヘシ)

審 査……内閣情報部  
締 切……昭和十三年七月十五日  
發 表……同七月二十七日發行兩誌誌上  
(懸賞作品ハ一切返却セズ、且ツソノ原稿ハ内閣情報部ニ送付ス)

届 先……東京市麹町区永田町内閣總理大臣官舎内  
内閣情報部(電話五三九一)



白石の勇士に笑つてもらはう  
石川縣大森町 石田 郁二  
僕等の同窓生の作ったプラスチックバンドは或日白衣の勇士隊の演奏を試みました。  
軍隊の上質な演奏を聞きなれてゐる兵隊さんも僕らの氣持を知つてくれればきつと心から喜んでくれるだらうと思ひます。

讀者のカメラの

農産期託兒所  
東京市大森區 吉川一雄  
働さうるものは田へ畑へ、いかに忙しい農村では子供連だけが残されてゐる。神奈川縣中郡相川村天宮寺では臨時にお寺を託兒所とし愛國婦人會と協力、毎日六十人以上の子供を無料で預つてゐる。これも鉄路を渡る農村の一風景。學童等の元気な聲が野良に響き、御父さんや御母さんの耳にひびけば仕事もぐつとはかどる。

夢刈り  
八王子市天神町兩角 正  
田植えを目前に控へた農村では小學校の生徒等も、放課後のしばらくを、七、八人宛一組となつて手の足りない農家の夢刈りの手傳ひをして居る。さつとさつと鳴る鎌の音は、僕等の勤務行進曲であり、肩にかつぐ麥の穂の重みは、僕等が荷ふ明日の日本のことを考へさせてくれる。



寫眞週報(禁轉載)

昭和十三年七月六日印刷發行

發行所 内閣情報部  
東京市麹町区永田町  
印刷所 大日本印刷株式會社  
東京市牛込區市谷  
加賀町一、二番地

定 價  
一 一ヶ月(前金)四圓八十錢  
一 一ヶ年分未滿配給希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい  
(送料不要! 送料は八圓九十錢)

所 込 申 價 定

寫眞週報配送部  
東京市麹町区永田町二丁目五番地  
電話五三九一  
郵便口座東京三三八〇番

全國各地官報販賣所  
東都書籍株式會社  
最寄書店・譯賣店  
各地新聞販賣所  
寫眞材料店

本誌は「寫眞週報」の一助にもと考へ、出来る限り紙面を開放し讀者のカメラを動員、優秀な技術を持つてゐる。題材は内外、國策の宣傳に關するものなら何でもよい。例へば街にも田舎にも、或は工場、軍隊、學校など列る所迄渡る。或は軍艦、國民精神運動風景、或は季節と世相の面白い組合せなどどうでもよい。一枚の寫眞でも、數枚でも組む組寫眞でもよく、締切日は決定せず、キスはキズを以て以上、掲載の分には報酬又は記念品を贈呈し、懸賞作品は一切返却せず。

内閣情報部



写真週報

昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年七月六日発行 (毎日) 即永隔日刊 (毎日) 第一一號

# 僕もポチもこゝろに元気です!!

戦線へ銃後の写真を送らせう  
誰れにも親しめる自然の姿を —  
このフィルムに

ネオパンクロ  
ネオクローム



輝く國産いつも快調!

# 富士のフィルム

(本書の大きさは規定規格A・「週報」倍率)